

おとかわかせんいきいプラネタリウム
えきせつくろう！

一年 日置 正哉

ほくのゆめは大好きなでん車のつて、冬の
空にキラキラかかやくきれいなほしをなが
めることです。そのゆめをかなえるために、
おとかわかせんいきにプラネタリウムえきを
つくってほしいとおもいます。

まず、めいてつの東岡崎えきから岡崎こう

えん前えきまでのあいだに、ゆめのきんか
てつどういごうをはしらせます。ゆめのきん
かてつどうは、しんだいとつきゅうのよう
に、でんしゃのてん上加プラネタリウムのよう
になつていて、ねころびなからほしを見るこ
とができるよっぱします。そして東岡崎えきが
らおとかわかせんいきまではちかてつに
おとかわかせんいきにでたところではほしを
みることかできるようにちよに出ます。でもそ
のままとおりすきるとほしをなかめることか

できないので、このほしのあたりに「プラネ
タリウムえき」をつづります。

「プラネタリウムえき」には、まあおかしな市
にはないプラネタリウムをつくります。あさ
から夕方まではへやの中でほしを見ることか
ができるようにします。そして、よるになった
らへやのやねがひらいてほんとうのほしをな
かめることができるようにします。ほかにも
ほしのクイズやかんぎょうしたりほんをよん
だりするほしよもあるらしいなとおもいま

す。

みんながたのしむことがきる「ゆめのき
んかてつどう」「プラネタリウムえき」をつ
くって、みんながたのしむことができるおと
川かせんじきになるといいなとおもいます。